

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2016-221340(P2016-221340A)  
 【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-070  
 【出願番号】特願2016-170588(P2016-170588)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月10日(2017.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示の表示結果として特定表示結果が導出されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、

普通識別情報を可変表示する普通可変表示手段と、

遊技媒体が入賞しやすい第 1 状態と入賞しがたい第 2 状態とに制御可能な普通可変入賞装置と、

前記普通可変表示手段に所定表示結果が導出されたときに、前記普通可変入賞装置を前記第 1 状態に制御する普通可変入賞装置制御手段と、

通常状態よりも前記普通可変入賞装置を前記第 1 状態に制御しやすい特定状態に制御可能な特定状態制御手段と、

少なくとも、前記特定表示結果が導出されることを示唆または前記所定表示結果が導出されることを示唆する所定演出を行う所定演出実行手段と、

前記所定演出実行手段により前記所定表示結果が導出されることを示唆する前記所定演出が実行されたが前記所定表示結果が導出されない場合にのみ実行可能な特定演出を実行する特定演出実行手段とを備え、

前記特定状態に制御されているときは前記所定演出実行手段による前記所定演出の実行を制限し、

1 回の識別情報の可変表示中において、特定演出を実行した後に再度特定演出を実行しない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(1) 本発明による遊技機は、識別情報の可変表示の表示結果として特定表示結果が導出されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、普通識別情報(例えば、普通図柄)を可変表示する普通可変表示手段(例えば、普通図柄表示器 10)と

、遊技媒体が入賞しやすい第1状態と入賞しがたい第2状態とに制御可能な普通可変入賞装置（例えば、可変入賞球装置15）と、普通可変表示手段に所定表示結果（例えば、当り図柄）が導出されたときに、普通可変入賞装置を第1状態に制御する普通可変入賞装置制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560において、ステップS453～S455の処理を実行する部分）と、通常状態よりも普通可変入賞装置を第1状態に制御しやすい特定状態に制御可能な特定状態制御手段と、少なくとも、特定表示結果が導出されることの示唆または所定表示結果が導出されることを示唆する所定演出（例えば、普通図柄連動予告）を行う所定演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100において、ステップS529，S533の処理を実行する部分）と、所定演出実行手段により所定表示結果が導出されることを示唆する所定演出が実行されたが所定表示結果が導出されない場合にのみ実行可能な特定演出を実行する特定演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100において、ステップS747，S749，S554，S563，S564，S1907，S1909の処理を実行する部分）とを備え、特定状態に制御されているときは所定演出実行手段による所定演出の実行を制限し、1回の識別情報の可変表示中において、特定演出を実行した後に再度特定演出を実行しないことを特徴とする。

そのような構成によれば、普通識別情報の表示結果として所定表示結果が導出されない場合に、遊技の興味が低下することを防止することができる。